Panasonic®

施工説明書
取扱説明書
保管用

SmartLighting Eco
環境配慮型照明器具
ムシベール

# 品番 JSF41050 JSF41260 JSF42260

(笠なし型) (反射笠付型) (反射笠付型)

(一般屋内用) ・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

**施工説明** **工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

## 安全に関するご注意

### ⚠警告

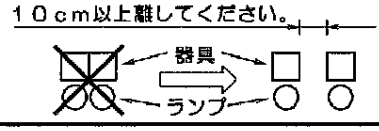
●施工は、施工説明にしたがい確実に行なう。 施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●器具を改造しない。 感電・火災の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数以外の電源で使用しない。 感電・火災の原因となります。

### ⚠注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。 落下・感電・火災の原因となります。
●周囲温度は、5～35℃以外では、使用しないでください。 ちらつきや短寿命の原因となります。
●殺菌灯と併用する場合は、殺菌線がシリンダに当たらない様に設置ください。
又、補虫器と併用する場合は、50cm以上離してください。 シリンダ劣化の原因となります。
●シリンダは専用器具にのみ適合します。 その他の器具には使用しないでください。

### 施工上のご注意

●器具を密集して取付けないでください。
密集させて取付けると、過熱により故障の原因となります。

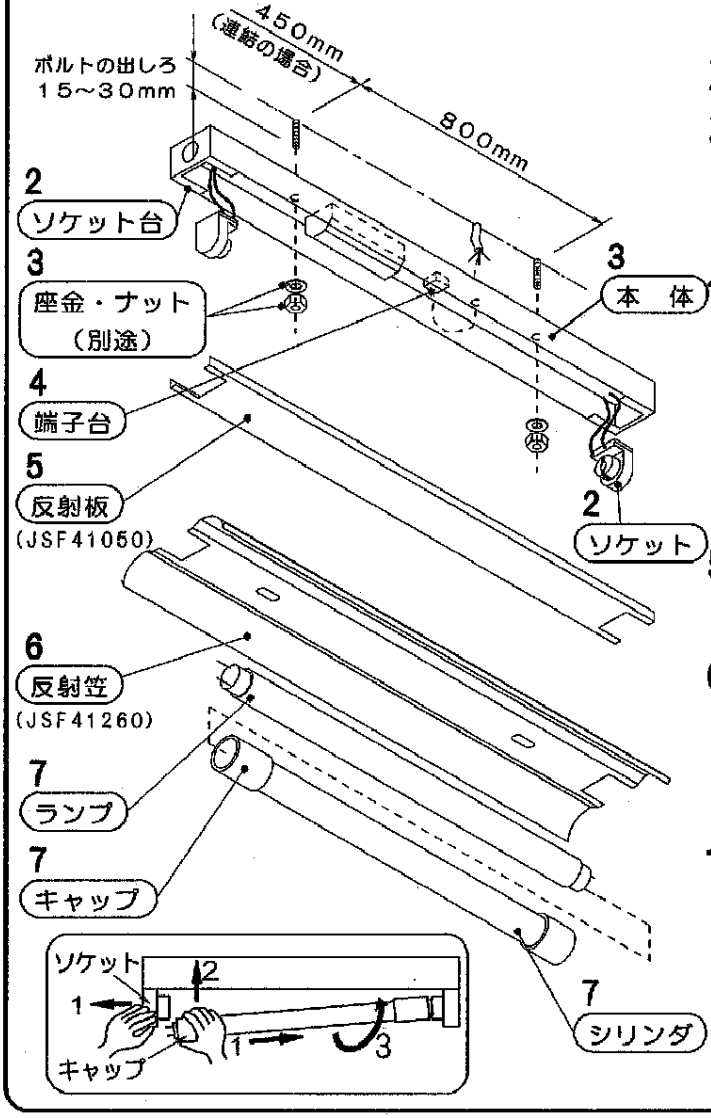



取説NO. JSF42260-T2

## 各部のなまえと取付方法　（1灯用器具の場合）

**⚠警告**

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。




### 1 取付前の確認

・器具質量（1．5ｋｇ）に十分に耐えるよう、取付ボルト又は、木ネジ取付部（ネジ掛かり代）の強度を確保する。
（取付ボルトは、W3／8又はM10を使用する。）
（木ネジは、丸木ネジの呼び4．1以上を使用する。）
不備があると器具落下の原因となります。

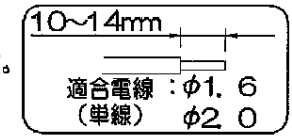
### 2 ソケットの取付

・ソケットをソケット台に確実に取付ける。

### 3 本体の取付

・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
電源ブッシングがついていない電源穴を使用する場合は、必ず電源ブッシングを付替えてください。
・本体を取付ボルト又は、木ネジで確実に取付ける。

### 4 電源線・アース線の接続

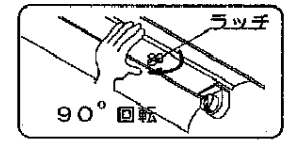



・電源線、アース線を確実に差し込む。
・D種（第3種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、20Aです。
・この器具は、器具内送り配線が可能です。
送り配線される場合は、器具同梱の電源ブッシング等でエンド部通線箇所の保護を行なってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

### 5 反射板の取付　（JSF41050の場合）

・本体のリブに反射板を確実にはめ込む。
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

### 6 反射笠の取付　（JSF41260の場合）

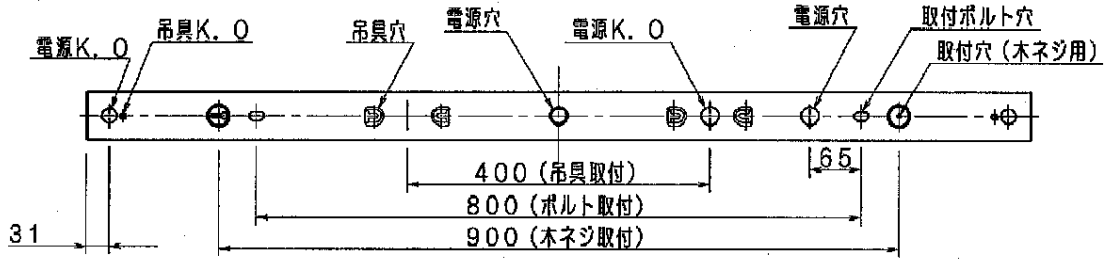



・ラッチを反射笠に押し当てながら90°回転して、確実に反射笠を取付ける。
取付が不完全な場合、反射笠落下の原因となります。

### 7 ランプを確実に取付ける

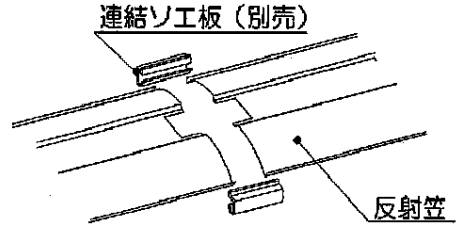
・シリンダをランプに装着する。
注）シリンダは、ランプ中心に合わせて装着してください。
光もれの原因となります。
・ランプを確実に取付ける。
注）ランプ取付けはソケットとキャップを持って取付ける。
取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

## 器具背面図




## 反射笠連結取付の場合

・別売の連結ソエ板（品番：FK482）をご使用ください。



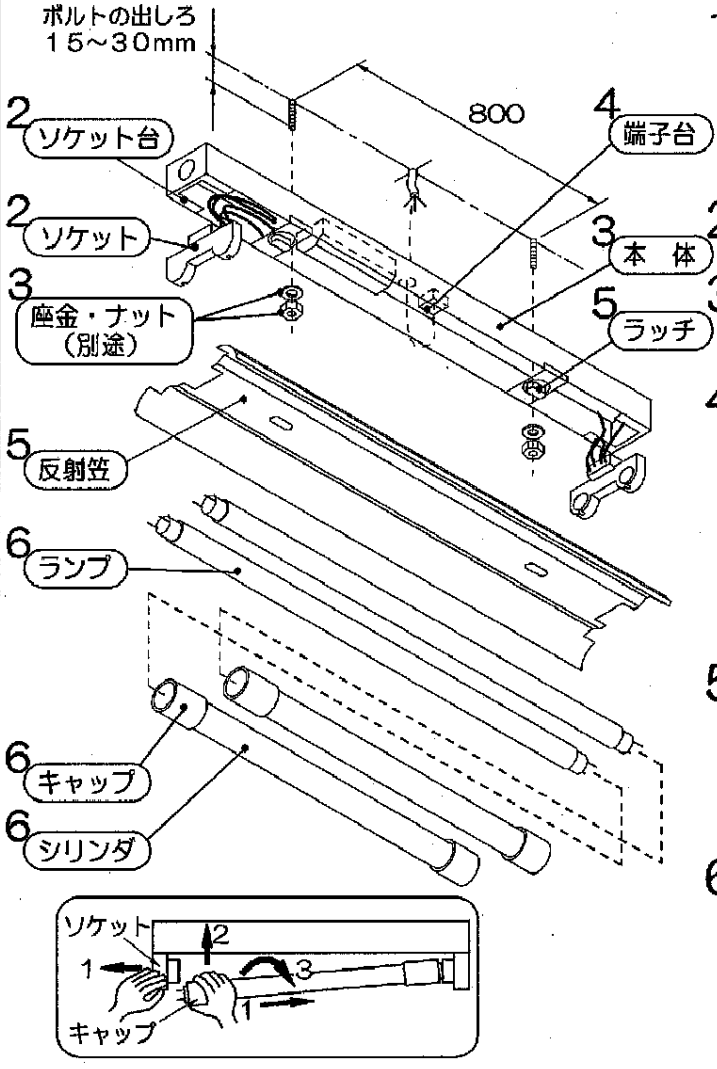



取扱NO. JSF42260-T2

## 各部のなまえと取付方法　（2灯用器具の場合）

**⚠警告**

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。







### 1 取付前の確認

・器具質量（2．7ｋｇ）に十分に耐えるよう、取付ボルト又は、木ネジ取付部（ネジ掛かり代）の強度を確保する。
（取付ボルトは、W3／8又はM10を使用する。）
（木ネジは、丸木ネジの呼び4．1以上を使用する。）
**不備があると器具落下の原因となります。**

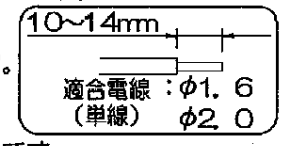
### 2 ソケットの取付

・ソケットをソケット台に確実に取付ける。

### 3 本体の取付

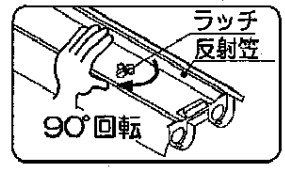
・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・本体を取付ボルト又は、木ネジで確実に取付ける。

### 4 電源線・アース線の接続




・電源線、アース線を確実に差し込む。
・D種（第3種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、20Aです。
・この器具は、器具内送り配線が可能です。
送り配線される場合は、器具同梱の電源ブッシング等でエンド部通線箇所の保護を行なってください。
**接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。**

### 5 反射笠の取付

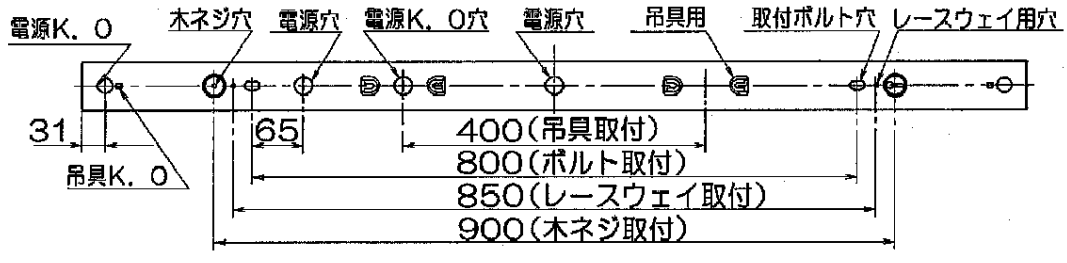



・ラッチを反射笠に押し当てながら90°回転して、確実に反射笠を取付ける。
**取付が不完全な場合、反射笠落下の原因となります。**

### 6 ランプを確実に取付ける

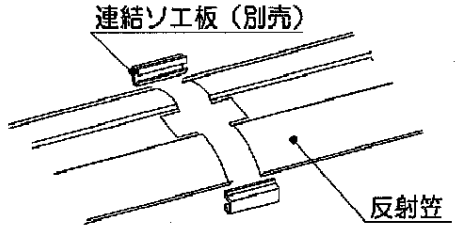
・シリンダをランプに装着する。
注）シリンダは、ランプ中心に合わせて装着してください。
光もれの原因となります。
・ランプを確実に取付ける。
注）ランプ取付けはソケットとキャップを持って取付ける。
**取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。**

## 器具背面図




## 反射笠連結取付の場合

・別売の連結ソエ板（品番：FK482）をご使用ください。



**取扱説明**　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

# 安全に関するご注意

## ⚠警告

●器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切る。　感電の原因となります。

## ⚠注意

●アルカリ系洗剤は使用しないでください。　強度低下による破損の原因となります。
●照明器具には寿命があります.
設置して※１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。　点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●１年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。（チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＢＡ）
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

## 使用上のご注意

・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。　事前に確認し、対策を講じてください。
・低誘虫の効果は、虫の種類（すう光性の有無）、周囲の環境（付近に明るい光源がない等）によって異なります。
・シリンダは専用器具にのみ適合します。　その他の器具には使用しないでください。

## 保証について

・保証について――この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は３年間です。
ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について――保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間――弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

## お手入れ・ランプ交換

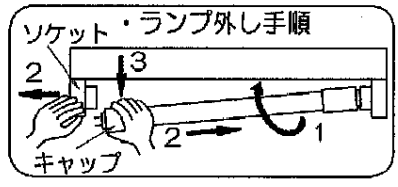
### ⚠注意

●感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください
●やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと

・器具の清掃について――水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・ランプ交換について――本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。）

1. ランプを外す。（ソケットとキャップを持って外す）
2. シリンダからランプを外す。
3. シリンダをランプに装着する。
4. ランプを取付ける。
（ソケットとキャップを持って取付ける）

注）取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。




交換部品

| 蛍光ランプ |
|---|
| FHF32EX |

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571−8686　大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120−878−365（フリーダイヤル）　0120−878−236（FAX）

N0609−020112　取扱NO. JSF42260−T2